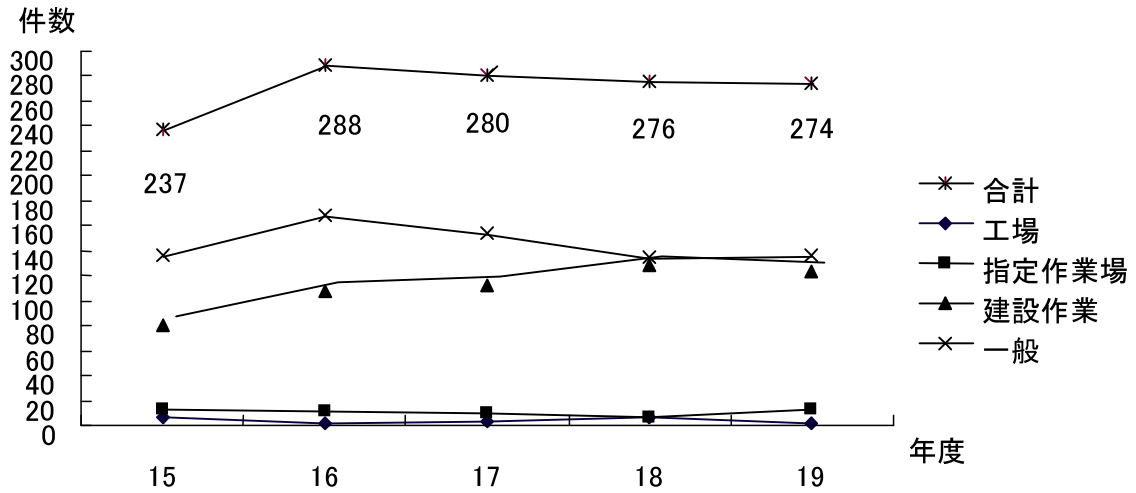


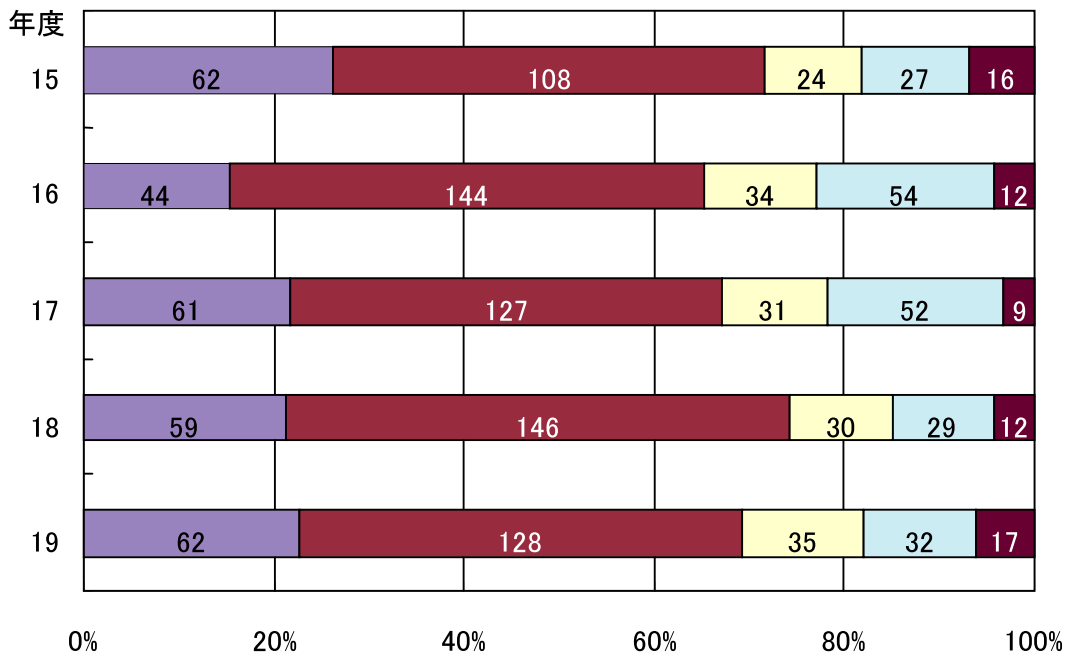
(5) 公害の苦情

<第1-5-1図> 発生源別苦情受付件数の年度別推移



<第1-5-2図> 現象別苦情件数割合の年度別推移

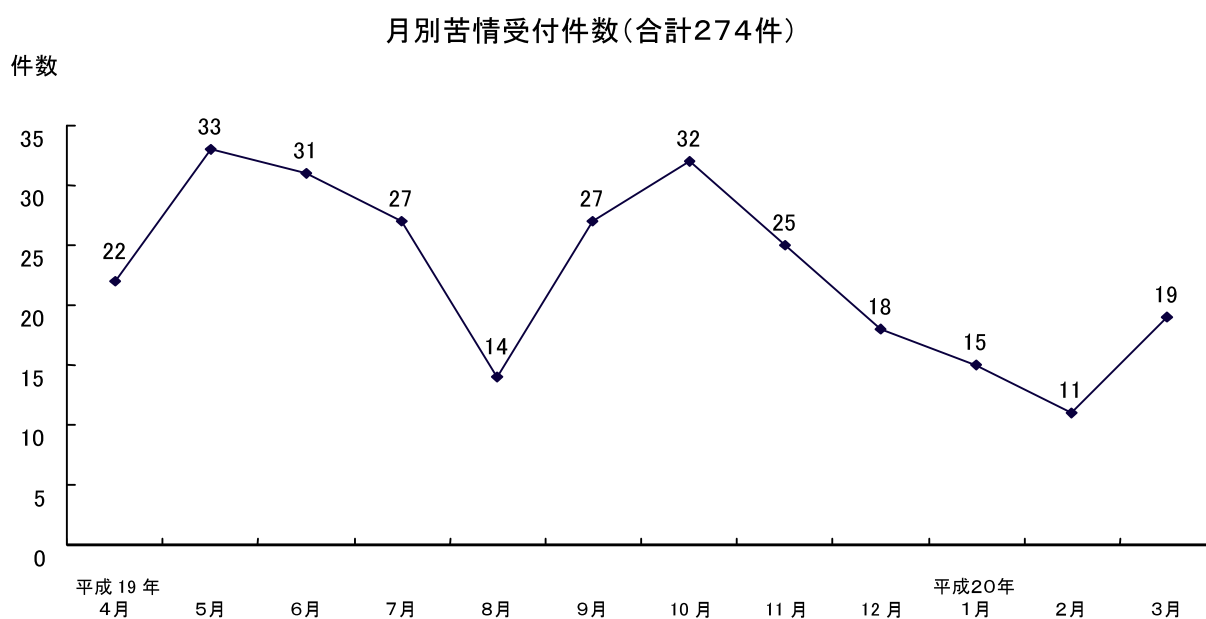
大 騒 振 悪 そ
 気 音 動 臭 の
 汚 音 動 臭 他
 染



<第1-5-1表> 苦情の年度別・発生源別・受付・処理数

発生源 年度		工場		指定作業場		建設作業		一般		計	
		受付	処理	受付	処理	受付	処理	受付	処理	受付	処理
15	件数	7	10	13	16	80	80	137	133	237	239
	%	3.00%	4.20%	5.50%	6.70%	33.80%	33.50%	57.80%	55.60%	100.00%	100.00%
16	件数	2	5	11	8	107	96	168	146	288	255
	%	0.70%	2.00%	3.80%	3.10%	37.20%	37.60%	58.30%	57.30%	100.00%	100.00%
17	件数	4	2	9	8	113	100	154	138	280	248
	%	1.40%	0.80%	3.20%	3.20%	40.40%	40.30%	55.00%	55.60%	100.00%	100.00%
18	件数	6	3	6	9	129	121	135	126	276	259
	%	2.20%	1.20%	2.20%	3.50%	46.70%	46.70%	48.90%	48.60%	100.00%	100.00%
19	件数	2	6	13	7	123	95	136	125	274	233
	%	0.70%	2.60%	4.70%	3.00%	44.90%	40.80%	49.60%	53.60%	100.00%	100.00%

<第1-5-3図> 苦情の月別受付件数（平成19年度）



(6) ダイオキシン類対策

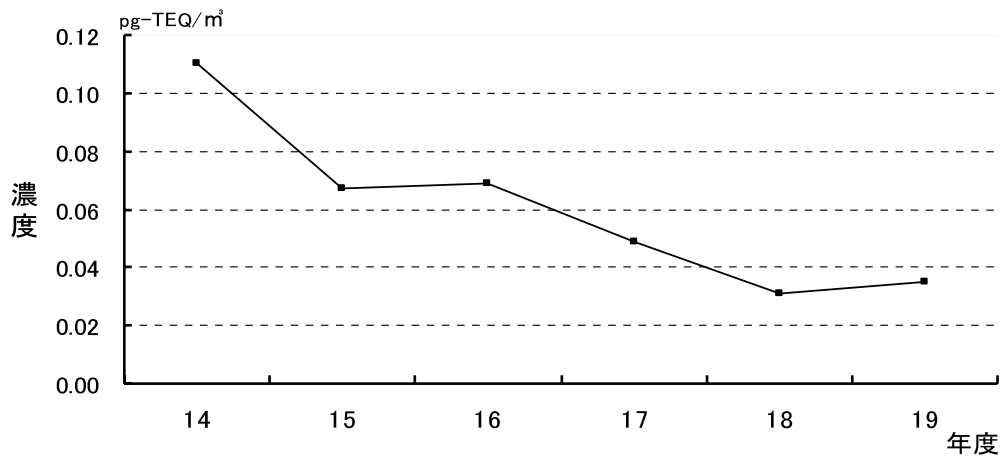
<第1-6-1表> 大気ダイオキシン類調査結果（7日間連続採取）

単位:pg-TEQ/m³

調査日	平成19年 5月17日 ～24日	8月16日 ～23日	10月18日 ～25日	平成20年 2月1日 ～8日	年平均値
調査地点					
井草森公園	0.028	0.023	0.033	0.074	0.040
大宮前体育館	0.021	0.026	0.033	0.062	0.036
郷土博物館	0.023	0.024	0.030	0.040	0.029

環境基準：年平均値が0.6pg-TEQ/m³以下

<第1-6-1図> 杉並区内の大気中のダイオキシン類濃度経年変化



<第1-6-2表> 河川ダイオキシン類調査結果

①水質

単位:pg-TEQ/l

調査日	平成19年 8月21日	平成20年 1月22日	年平均値
調査地点			
尾崎橋（善福寺川）	0.070	0.072	0.071
宮下橋（神田川）	0.18	0.10	0.14
和田見橋（神田川）	0.095	0.36	0.23
佃橋（玉川上水）	0.34	0.12	0.23

環境基準：年平均値が1pg-TEQ/l以下

②底質

単位:pg-TEQ/g

調査日	平成19年 8月21日
調査地点	
尾崎橋（善福寺川）	0.76
宮下橋（神田川）	10
和田見橋（神田川）	—
佃橋（玉川上水）	6.0

環境基準：各測定値が150pg-TEQ/g以下

注)

1. ダイオキシン類とは、ポリ塩化ジベンゾフラン、ポリ塩化ジベンゾパラジオキシンおよびコプラナーPCBを含めたものをいう。
2. TEQ:毒性等量といい、ダイオキシンの種類ごとに毒性の強さが異なるため、最も毒性の強いダイオキシンの量に換算したものを。
3. 1pg:1兆分の1グラム。